

道路事業の再評価説明資料

〔国道 8 号 かしわ ざき 柏崎バイパス〕

（一括審議）

平成 2 9 年 9 月

北陸地方整備局

目 次

1. 前回事業再評価からの進捗状況	P	1
2. 事業の投資効果	P	2
3. 費用対効果分析実施判定票	P	3
4. 費用対効果	P	4
5. 対応方針（原案）	P	5

1. 前回事業評価からの進捗状況

(1) 前回事業評価から事業実施状況

年 度	主な経緯
平成23、26年度	事業再評価（指摘事項なし、継続）

(2) 事業の進捗状況

平成29年度末（予定）、金額は税込み

	全体	執行済額	進捗率	残事業費
事業費	約826億円	約550億円	67%	約276億円
うち用地費・補償費	約276億円	約257億円	93%	約19億円

※表示桁数の関係で一致しないことがある。

- 柏崎市城東～柏崎市大字鯨波間の道路設計、改良工事及び柏崎市東原町～柏崎市茨目間の道路設計、埋蔵文化財調査、改良工事を推進



図1-1 広域図

(3) 今後の事業展開

- 柏崎市城東～柏崎市大字鯨波間及び柏崎市東原町～柏崎市茨目間の早期暫定2車線供用を目指して整備を進める。
- 4車線整備については、交通状況を勘案しつつ整備時期等を検討する。

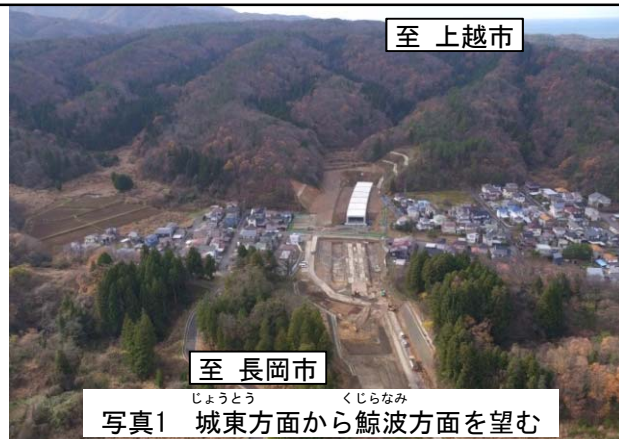


写真1 城東方面から鯨波方面を望む

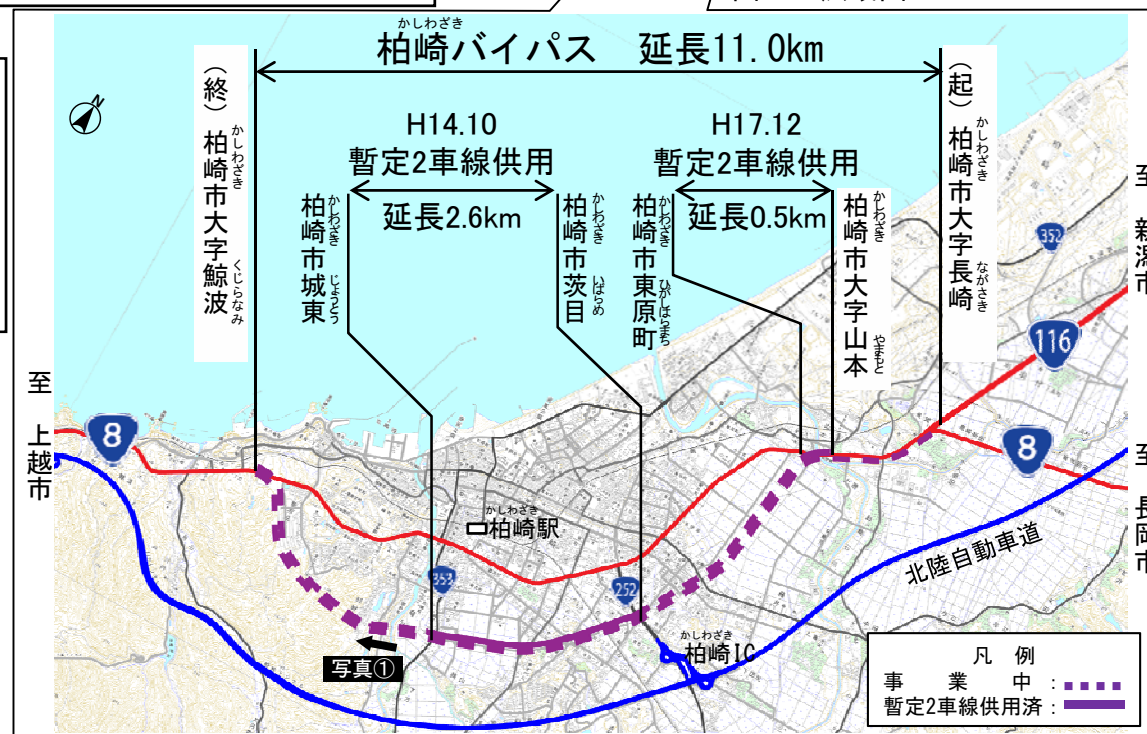


図1-2 位置図

2. 事業の投資効果

① 走行時間の短縮

- 柏崎バイパスの整備により、円滑な走行環境が確保され、バイパス事業区間の走行時間が約9分短縮するとともに、渋滞損失時間は年間約47万人・時間の削減が期待される。

② 交通事故の減少

- 柏崎バイパスの整備により、安全な走行環境が確保され、現道区間では年間29件の死傷事故削減が期待される。

③ 災害時における交通の確保

～リダンダンシーの確保～

- 豪雪、豪雨、事故等による北陸自動車道通行止め時は、柏崎バイパスが市街地を通過しない代替路として機能する。
- 柏崎市中心部を流れる「鵜川」氾濫による国道8号の現道一部区間冠水時の緊急避難路としての役割も期待される。

～中越沖地震からの教訓～

- 平成19年中越沖地震では柏崎バイパスの開通区間が代替機能を発揮したが、未開通区間では片側交互通行や狭隘な道路への迂回を強いられた。
- 柏崎バイパスの全線開通により、災害時の交通問題の緩和に大きな役割を果たすことが期待される。

④ 冬期間のスムーズな交通の確保

- 国道8号の現道区間には急勾配区間があり、登坂不能車が多数発生。
また、降積雪による北陸自動車道通行止め時は、国道8号の現道区間で大渋滞が発生している。
- 柏崎バイパスの整備により、積雪期の円滑な通行確保が期待される。

⑤ 主要な観光地へのアクセス向上

- 柏崎市では夏期の海水浴客が多く、毎年海水浴期には、柏崎ICを利用した海水浴客の増加により国道8号の現道区間では渋滞が発生。
- 柏崎バイパスの整備により、海水浴場や海岸線沿いに集中する観光施設等へのアクセス性が向上する。

3. 費用対効果分析実施判定票

再評価の重点化・効率化判定票(道路・街路事業)

年度: 平成29年度

事業名: 国道8号 柏崎バイパス

担当課: 道路計画課

担当課長名: 御器谷 昭央

項目	判定	
	判断根拠	チェック欄
事業を巡る社会経済情勢等の変化		
事業の効果や必要性、周辺環境等に変化がない	事業の効果や必要性、周辺環境等に変化がない	■
前回評価からの事業費・事業期間の増加		
事業費の増加	事業費の増加はない	増加無し ☒ 10%以内増加 ☐
事業期間の増加	事業期間の延長はない	☒ 10%以内増加 ☐
前回評価からの費用対効果分析に関する影響要因の変化等		
費用便益分析マニュアルに変更がない	費用便益分析マニュアルの変更がない	■
需要量の変化(需要量等の減少が10%以内)	発生交通需要量の減少がない	■
周辺ネットワークで新規事業化がない	周辺ネットワークで新規事業化がない	■
下記のうち、一方もしくは両方を満たしている ・事業費に比して費用対効果分析に要する費用が大きい ・前回評価時の感度分析における下位ケース値が基準値を上回っている	前回評価時における感度分析の下位ケース値が基準値を下回っているものが存在。 平成26年度評価時の感度分析の下位値 〔全体事業〕・交通量(-10%) B/C=0.95 〔残事業〕・交通量(-10%) B/C=2.6 ・事業費(+10%) B/C=1.1 ・事業費(+10%) B/C=2.8 ・事業期間(+20%) B/C=1.1 ・事業期間(+20%) B/C=2.9	□
前回評価で資料の作成を省略していない		■
前回評価で費用対効果分析を省略していない		■
その他の事由(重点的な評価が必要な特別な事由)	なし	—
以上より、審議区分 : 一括 資料 : 省略 費用対効果分析 : 実施 とする。		

4. 費用対効果

事業名	国道8号 柏崎バイパス						
起終点	自：新潟県柏崎 ^{かしわぎ} 市大字長崎 ^{ながさき} 至：新潟県柏崎 ^{かしわぎ} 市大字鯨波 ^{くじらなみ}					延長	11.0km
事業概要	国道8号柏崎 ^{かしわぎ} バイパスは、柏崎 ^{かしわぎ} 市街地の交通混雑を解消し円滑な交通を確保、広域幹線道路ネットワークの強化などを目的とした延長11.0kmのバイパス事業である。						
昭和62年度事業化		平成元年度都市計画決定		平成3年度用地着手		平成5年度工事着手	
全体事業費	約826億円	事業進捗率 (平成29年度末予定)	67%	供用済延長	3.1km （暫定2車線）		
計画交通量	17,100～35,800 台/日						
費用対効果 分析結果	B/C		総費用	(残事業) / (全体事業)	総便益	(残事業) / (全体事業)	基準年度
	(事業全体)	1.1	279/1,173億円		1,047/1,239億円		平成29年度
	(残事業)	3.8	事業費：	215/1,074億円 維持管理費： 64/ 99億円	走行時間短縮便益：	880/1,043億円 走行経費減少便益： 128/ 154億円 交通事故減少便益： 39/ 43億円	
感度分析の結果							
(事業全体)	交通量：	(-10%～+10%) B/C=0.9 ～1.1	(残事業)	交通量：	(-10%～+10%) B/C=3.3～4.0		
	事業費：	(+10%～-10%) B/C=1.04～1.1		事業費：	(+10%～-10%) B/C=3.5～4.1		
	事業期間：	(+20%～-20%) B/C=1.02～1.1		事業期間：	(+20%～-20%) B/C=3.7～3.8		

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価格を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内容と一致しないことがある。

※費用対効果分析結果及び感度分析の結果の欄に係る数値は平成29年度評価時点。

※便益の算定については、「将来交通需要推計手法の改善について【中間とりまとめ】」に示された第二段階の改善を反映している。

※費用及び便益額は、10以上：整数止め、1.0より大きく10未満：小数点1桁止め、1.0以下：小数点2桁止め とする。

※費用対効果分析結果及び感度分析の結果は原則小数点1桁止め。ただし、四捨五入で1.0となる場合は、小数点2桁止め。

5. 対応方針（原案）

事業の必要性等に関する視点

事業を巡る社会経済情勢等の変化	
○ 前回再評価以降、周辺に大きな社会経済情勢等の変化はない。	
事業の投資効果	
○ 本事業の整備により、「走行時間の短縮」「交通事故の減少」「災害時における交通の確保」「冬期間のスムーズな交通の確保」「主要な観光地へのアクセス向上」などの効果が発揮される。	
事業の進捗状況	
○ 事業の進捗状況：用地進捗率93%、事業進捗率67%（平成29年度末予定） 残事業の内容：用地取得、道路設計、埋蔵文化財調査、改良工事	

事業の進捗の見込みの視点

・ 柏崎市城東～柏崎市大字鯨波間の道路設計、改良工事及び柏崎市東原町～柏崎市茨目間の道路設計、埋蔵文化財調査、改良工事を推進し、早期の暫定2車線供用を目指して整備を進める。 ・ 4車線整備については、交通状況を勘案しつつ整備時期等を検討する。	かしわぎ じょうとう かしわぎ くじらなみ かしわぎ ひがしはら まち かしわぎ いばらめ
--	---

コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点

・ 建設発生土の有効利用や新技術の活用等により、コスト縮減を図る。

関係する地方公共団体等の意見

・ 地域から頂いた主な意見等：かしわぎ 柏崎市や国道8号かしわぎ柏崎バイパス事業促進協議会から本道路の整備促進についての要望を頂いている。 ・ 知 事 の 意 見 ： 県民の命と暮らしを守り、豊かな新潟県を創るため、事業の継続を望みます。
--

対応方針（原案）：事業継続

・ 柏崎バイパスは、新潟市から京都市に至る国道8号のうち、かしわぎ 柏崎市大字長崎～ながさき 柏崎市大字鯨波間を結ぶ道路であり、広域幹線道路ネットワークの一部を構成する重要な役割を担っている。 ・ 本事業の整備により、安全かつ円滑な走行環境の確保、災害時における交通の確保、冬期間のスムーズな交通の確保、主要な観光地へのアクセス向上など、多様な効果が見込まれるため事業を継続する。	かしわぎ ながさき かしわぎ くじらなみ
---	--